予算常任委員会会議録

1 開会日時 令和4年12月13日（火）午前10時0分

2 閉会日時 令和4年12月13日（火）午後0時15分

3 会議場所 熊山支所大会議室

4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	4 番 永徳 省二君
6 番 佐藤 武君	7 番 佐々木雄司君	8 番 光成 良充君
9 番 保田 守君	10 番 大口 浩志君	11 番 治徳 義明君
12 番 原田 素代君	13 番 金谷 文則君	14 番 松田 勲君
15 番 福木 京子君	16 番 佐藤 武文君	17 番 下山 哲司君

5 欠席委員

3 番 安藤 利博君	5 番 大森 進次君
------------	------------

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君	副 市 長 前田 正之君
教 育 長 土井原康文君	総合政策部長 山本 幸治君
総 務 部 長 入矢五和夫君	財 務 部 長 戸川 邦彦君
市民生活部長 杉原 洋二君	保健福祉部長兼 介護保険課長 谷名 菜穂子君
建設事業部長 高橋 渉君	産業振興部長 是松 誠君
教 育 次 長 有馬 唯常君	消 防 長 井元 官史君
赤坂支所長兼 市民生活課長 吉井支所長兼 市民生活課長 小坂 憲広君	熊山支所長兼 市民生活課長 矢部 恭英君
総 務 課 長 花谷 晋一君	政策推進課長 山崎 和枝君
管 財 課 長 大窄 暢毅君	財 政 課 長 原田 幸子君
消防総務課長 檜原 秀幸君	税 務 課 長 光田 尚人君
子育て支援課長 和田美紀子君	市民課長兼 協働推進課長 稲生真由美君
健康増進課長 石原万輝子君	社会福祉課長 原田 光治君
熊山診療所参事 川原 達也君	環 境 課 長 安藤 伸一君
学校教育課長 森本 治君	教育総務課長 金島 正樹君
中央公民館長 馬場 弘祥君	社会教育課長 西崎 雅彦君
中央学校給食センター所長 矢部 寿君	中央図書館長 森本 一也君
商工観光課長 大崎 文裕君	建 設 課 長 福圓 章浩君
赤坂支所 産業建設課長 石井 徹君	地域整備推進室長 森本 祐司君
	熊山支所 産業建設課長 砂子 武久君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 土井 常男君

副 参 事 逢坂紀美子君

8 審査又は調査事件について

- 1) 議第69号 令和4年度赤磐市一般会計補正予算(第8号)
- 2) 議第70号 令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 3) 議第71号 令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第2号)

午前10時0分 開会

○委員長（松田 勲君） 皆様、おはようございます。

それでは、ただいまから予算常任委員会を開催いたします。

まず初めに、本日大森副委員長と安藤委員から欠席届が提出されておりますので報告しておきます。よろしくお願いいたします。

次に、友實市長より挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆様、おはようございます。

本日は、予算常任委員会をお開きいただきまして誠にありがとうございます。

今12月定例市議会に上程させていただいております補正予算、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、それぞれ補正を組ませていただくということで上程させていただきますので、これらを本常任委員会で慎重審査をお願いしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入りますが、本日は議長とも協議の上、コロナ禍でございます。また、会場の入替え等もございますので、今回の予算に係る職員を中心に調整させていただいておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

それでは、当委員会に付託されました案件は、議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）から議第71号令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）までの3件でございます。

内容につきましては本会議場で説明いただきましたが、補足説明がありましたらお願いします。

説明は、重要な部分を捉えていただきまして、簡潔にお願いしたいと思います。

なお、本日の資料のうち、補正予算と説明資料は御覧のSide Booksの全体共有フォルダの中の本会議フォルダ、そして令和4年度ホルダの中の12月第6回定例会フォルダを開いていただき、その中の議案・説明資料ホルダの中に議案書と補正予算説明資料に分かれていますので、皆様御確認をお願いしたいと思います。

また、審査方法については執行部の出入りを少なくするため、特別会計も含めて、まず初めに総務常任委員会所管関係、次に厚生文教常任委員会所管関係、3番目に産業建設常任委員会所管関係の順に審査を行いたいと思います。

この後、席替えをして総務常任委員会所管関係から入っていききたいと思います。また、産業建設常任委員会所管関係まで終了の後に、採決を行いたいと思います。この方法でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

それでは、説明及び質疑のときは、ページを言ってから発言をしてください。ページが2段書きになっている補正予算書につきましては、初めに議案書の全体のページを言っていただき、次に、国1など予算書の独自のページを言ってから進めてください。また、質疑、答弁についてはできるだけ皆さん、質問される方も、答弁される方も大きな声で明瞭簡潔にお願いしたいと思います。

なお、質疑につきましては11月17日開催の全員協議会で申し上げましたとおり、前回と同様の方式で行います。

総務、厚生文教、産業建設それぞれの常任委員は所管の部分に関して質疑を原則行わないよう申し合わせておりますので、皆様よろしくお願いたします。

また、換気のためドアの開放を行い、適宜休憩を取りたいと思います。

それでは、ここで暫時休憩をいたします。

午前10時1分 休憩

午前10時4分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、再開いたします。

総務常任委員会所管関係について、ただいまより審査を行います。

議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について審査を行います。

執行部から歳入歳出についての補足説明がございましたら、部ごとにお願いたします。

説明は先ほど申しましたが、補正予算及び説明資料のページ番号を言ってから行うようお願いいたします。

なお、2款総務費、3項戸籍住民基本台帳費の13節委託料は厚生文教常任委員会の所管となりますので、よろしくお願いたします。

それでは、執行部のほうから順次補足説明を願います。

○総務部長（入矢五和夫君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 入矢総務部長。

○総務部長（入矢五和夫君） それでは、議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）につきまして、全体に係る部分につきまして、私のほうから補足説明をさせていただきます。

議案書の総ページでは84ページ、補正予算書のページが16ページからになります。

説明資料のほうは10ページからとなりますが、1款議会費から10款教育費まで、各費目において職員人件費を補正させていただいており、市長部局の人件費の合計では1,373万5,000円を減額、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計への人件費に係る繰越し分も含めた一般会計の総額では6,307万6,000円を減額させていただいております。

これは、人事異動や職員の中途退職、人事院勧告等により給料、職員手当、共済費などそれぞれ増減したものでございまして、これまでの実績から年度末までの支出見込みを算出させていただきます。

また、2款総務費から10款教育費まで、各費目において需用費の燃料費及び光熱水費を増額補正させていただきます。

こちらは、原油価格高騰等の影響により、各公共施設の管理に必要な電気料金等について国民健康保険特別会計の繰出金等も含めまして、一般会計の総額で7,425万9,000円を増額しております。電力消費の多い施設といたしましては環境センターや給食センターなどが挙げられますが、本庁舎に係る電気料金も402万7,000円の増額となっております。

また、そのほかにつきましては本会議場で説明させていただいたとおりでございます。

総合政策部、総務部、財務部、消防本部とも補足説明はございませんので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にはございませんね。

それでは、補正予算の議案全体74ページを開いていただき、予算書の小さいページでは6ページになっております「第3表債務負担行為補正」について質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に歳入歳出について歳出の款ごとに質疑を受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、歳入については歳出の関連部分で質疑を併せてお願いしたいと思います。

それでは、補正予算書の議案、全体のページで言うと84ページから85ページでございます。予算書で言うと16ページから17ページ、説明資料で言うと10ページから11ページ、1款議会費について質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に補正予算書の議案全体84ページから87ページ、小さい予算書のページで言うと16ページから19ページ、説明資料は10ページから13ページ、2款総務費について質疑を受けたいと思います。

なお、先ほども申しましたが、3項戸籍住民基本台帳費の13節委託料については厚生文教常任委員会の所管でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑はありませんか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金というのがあるんですが、これ歳入しか出てこない部分かなと思うんですけど、ここで今聞いてもいいもんですかね。

○委員長（松田 勲君） ここで関係してますね。よろしい。

○委員（光成良充君） この減収補填特別交付金が91万5,000円歳入で入ってるんですけども、これ交付金の見込みにより補填の特別交付金が交付するというふうに書いてあります。

地方税の減収の補填として91万5,000円というのが少額かなというふうに感じるんですが、この補填の交付金についての説明と、金額はどうしてこういうふうになってるのかの説明をお願いしたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○税務課長（光田尚人君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光田税務課長。

○税務課長（光田尚人君） こちらは新型コロナウイルス感染症の影響下における先端技術設備等に該当する償却資産に対する固定資産税の課税標準額の特例措置によるもので、固定資産税の減収分が国の交付金により補填されるものでございます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも新規に設備投資を行う中小事業者を支援するのが目的でございます。

本市においては2者の償却資産が該当し、その課税標準額6,531万1,000円に税率1.4%を掛けました91万5,000円を減収額と見込み、計上いたしております。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） ありがとうございます。

固定資産税の償却資産、今年の部分なので、今年の1月31日に償却資産の申告をされた部分についての減収というふうに考えていいですか、それとも来年度に出てくるものになってくるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○税務課長（光田尚人君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光田税務課長。

○税務課長（光田尚人君） 地方税法附則第64条の改正によりまして、先端設備等導入計画に基づき導入した資産に対する特例措置の期間が令和3年3月31日から令和5年3月31日まで延長されております。令和3年3月31日以降に取得され賦課期日の令和4年1月1日現在において所有されております当該資産について、令和4年度の固定資産税が減額をされるものでござ

います。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） はい、よろしいです。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 今お聞きした部分と違うところで、総務部の中に公有財産管理事業というので998万5,000円、市役所の本庁舎の駐車場用地として利用するための未利用国有財産の取得ってというのがありますが、この部分について、場所等について詳細な説明をお願いしたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 国有財産の取得用の経費でございます。

こちらにつきまして、場所は上市地内の、このたび整備しました東庁舎の北側道路、水路を挟んで北側の土地、1,000平米足らずの土地でございます。

こちら、従来より国から未利用国有財産の売却について市のほうに打診がありましたが、このたび計上させていただき、取得に向けて進めるところでございます。

現在旧農政局の食糧事務所の2階建ての建物が現存しておりますが、築後50年余りということで古く、活用というのは考えておりませんで、そちらの建物を除却しまして本庁舎、東庁舎等の駐車場に活用する予定ということで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） ということは、建物込みで取得をして今度駐車場にするということは、その解体費用等も要すると思うんですけども、この998万5,000円は取得だけで建物解体というのは後からまた出てくるというふうに考えてよろしいですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大窄管財課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 取得経費につきましては土地の評価、こちらを概算でしております。こちらの評価額から建物の除却費用、こちらを引いたものの金額となっております。解体工事費等につきましては今後出てくる予定でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） はい、結構です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 予算説明資料の12ページの戸籍住民基本台帳費の中に、職員人件費とその下に一般管理経費と両方ありますが、一般管理経費のほうにはマイナンバーカード及びマイナポイントに関する経費とありまして、これ上下関連して人件費を充てる予算なのかなと推測するのですが、たしか国からこの経費っていうのはかなり出てたような気がするんですけど、ここの部分は国、県の補助金は出てない真水の一般財源だけの費用になってるんですか、説明をお願いします。

○委員長（松田 勲君） 答弁を求めます。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 花谷総務課長。

○総務課長（花谷晋一君） 私のほうからは、戸籍住民基本台帳費の人件費の部分だけお答えさせていただきます。

ここの部分につきましては説明資料にも書かせていただいておりますとおり……。

○委員長（松田 勲君） すいません、もう少し大きな声でお願いします。

○総務課長（花谷晋一君） 失礼しました。

人事異動に伴う予算の増のみを計上しておりまして、特にこの下のマイナンバーカードに関するもので、新たに何か追加しているようなものではございません。

これはまた市民課の所管ということになっておりまして、そちらはそちらでお尋ねいただいたほうがいいのかと思います。よろしくをお願いします。

以上です。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（光成良充君） すいません、もう一度。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 予算説明資料の6ページ、7ページと多分これ関連してくるんだと思うんですが10ページ、11ページにあるもので、6ページ、7ページに総務費国庫補助金で1,839万9,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金というのが入ってるんで

すが、多分どっかに出てきてるんだと思うんです、歳出で。結婚支援の1,500万円、それから周匝の保育園に129万6,000円、抗原検査キットで27万2,000円、それから図書館の図書除菌機に133万1,000円というふうに、多分これが使われていると思うんです。あと、この1,839万9,000円のうち50万円が分からないんです。

その50万円はどこに使われているのかっていうことと、併せてこの1,500万円が結婚支援事業に出ているので多分それに使われているんですが、結婚支援事業を見ると物価高騰の影響を受ける新婚世帯に支援金を給付するための経費ってあるんですけど、物価高騰の影響を受けてるのは新婚世帯だけではないというふうに思っております。この結婚支援事業に対してどういった目的でこの事業を行われるのか、説明をお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 山崎政策推進課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） まず、歳入の充当先の御質問にお答えいたします。

総ページ数で申し上げますと、予算書は88ページ、89ページ、予算書のページとしては20ページ、21ページ、それから補正予算の説明資料といたしましては14ページ、15ページが該当するページになります。

こちらが3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費でございまして、こちらの事業費に対して国庫補助残40万円を充当させていただいております。

それから、同じく4目児童福祉施設費、こちらのほうに、これも同じよう国庫補助残につきまして10万円を充当させていただいている状況です。

あとの充当先につきましては、先ほど光成委員が御指摘いただいた事業、結婚支援事業1,500万円、それから抗原検査キットの購入、消防のほう、それから図書の除菌機の導入のほうに充てさせていただいております。あとすいません、周匝の保育園、こちらの整備費用について充当させていただいております。

続きまして、歳出の御説明でございまして、予算書が16ページ、17ページにお戻りいただいて、総ページで申し上げますと84ページ、85ページです。補正予算説明資料は10ページ、11ページでございます。

まず、こちらの事業の中で、6目企画費でございまして、1,500万円を計上させていただいております。こちらが結婚支援の支援金ということで、こちらにつきましては新型コロナウイルスの感染症の感染拡大以降、出生数の減少はもとより婚姻数の減少が顕著となっている状況でございまして、加えまして、物価高騰等により経済不安や結婚式や引っ越し費用など結婚に関連する費用も割高になっている状況でございまして、こういったことも結婚に対する減少要因の一つではないかと考えております。

こうした中、市民の方々の経済不安の解消を図りますとともに、結婚という人生の門出を地

域で応援させていただくことにより地域とのつながりを醸成し、ひいては定住人口の増加につながっていきけるのではないかというふうを考えまして、こちらの事業のほうを計上させていただいております。なお、補足ではございますが、1世帯当たり10万円を支給させていただいて、婚姻数を見込みで150件程度で見込んでおりますので、1,500万円という金額でございます。

簡単でございますが、以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） はい、分かりました。

○委員（原田素代君） 1世帯当たりの金額をもう一回確認、聞こえなかった。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 山崎政策推進課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 申し訳ございません。1世帯当たり10万円です。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） 10万円掛ける150件ですね。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に補正予算書の議案全体92ページから93ページ、予算書の小さい数字は24ページから25ページになっております。説明資料は16ページから17ページの9款消防費について質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明の17ページです。

これ、抗原検査キットの購入に係る経費、増額するということなんですが、5,000回分の予算が前説明ありましたよね、その状況というのはどんなのでしょうか。それで、第8波も…

…。

○委員長（松田 勲君） ちょっと違う。勘違いしてる。

○委員（福木京子君） 違うのか。

○委員長（松田 勲君） 違う。消防職員の……。

○委員（福木京子君） 職員のですか。そうか、分かりました。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（福木京子君） でも、職員の状況もそうしたら説明願いたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 職員の状況ですね、ワクチンの。

答弁をお願いします。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 檜原消防総務課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） すいません、今の御質問の確認をさせていただきたいと思えます。

検査キットの購入の経緯でございますか、それとも現在の消防職員の検査キット、これの在庫のお話をさせていただいたらいいでしょうか、いかがでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 再度福木委員、明瞭簡潔にお願いします。

○委員（福木京子君） 現状です。キットをどういうふうにご利用されて、あとどうなってるんかの現状を聞きたいわけです。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○消防長（井元官史君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 檜原消防総務課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 福木委員の御質問にお答えをさせていただきたいと思えます。

現在の検査キット、在庫は多数抱えておりません。どういうことかといいますと、使用期限、こういったようなこともあります。それから、市のほうからお分けいただいている現状でございます。職員に十分な検査キットの対応ができてない現状がございますので、ぜひともこの場をお借りしましてお願いしたいというところでございます。

誠に申し訳ございませんが、そういったような答弁になります。よろしくお願ひいたします。

○委員長（松田 勲君） 福木委員、よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） いやいや、そういうふうな答弁じゃなくて、やっぱりそこは十分安心して使えるような状況にしないといけないわけですからね。そういうことで、それは執行部の上のほうできちっと判断するべきことでないんですかね。意見は言えないんですけど、そういうことについてはどうなんでしょうか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 檜原総務課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 誠に申し訳ございません。答弁が不手際でございました。

このたびの検査キットでございますが、不足しているところを補うという意味で300回分の検査キットの購入をお願いしているところでございます。

一般の職員と比べまして、消防職員はやはり24時間勤務でございます。職員同士、衣食住、これを共にするために職場内での感染リスクが大変高うございます。この検査キットが職員に常に所持できることで、職場はもとより自宅において発症した場合でも検査を早期に行い、確

実な検査結果で出勤を抑えることによって、職場内でのクラスターの発生を未然に防止し稼働人員を確保するという事で、火災出動や救急搬送体制の保持を行うというようなことが目的でございます。

リスク管理を十分に行う上で必要な購入と考えております。現在不足しているものを補うものでございます。どうぞ御理解をよろしくお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

福木委員、よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（光成良充君） 今の説明に補足で聞きたいんですけど、いいですか。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 今、300回分のキットを購入するというふうに言われておりました。これ消防職員だけの分だと考えればいいんですか、それとも市職員全体を考えればいいんですか、どちらなんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 檜原消防総務課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 光成委員の御質問にお答えをさせていただきたいと思えます。

消防職員用でございます。1人当たり5回分の検査キットと考えております。現場対応24時間勤務をしておるのは約60名でございます。この60名を1人当たり5回分、これを計算に入れてでございます。300回分でございます。御理解をよろしくお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで総務常任委員会所管関係を終わります。ありがとうございました。

ここで、執行部を厚生文教常任委員会の関係者と交代したいと思いますので、ここの時計で10時45分まで休憩といたします。よろしく申し上げます。

午前10時33分 休憩

午前10時45分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、再開します。

続きまして、厚生文教常任委員会所管部分について審査を行います。

まず初めに、議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について、審査を行います。

執行部から歳入、歳出について補足説明がありましたら、部ごとをお願いします。なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから、行うようにお願いします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） それでは、市民生活部所管の案件でございますが、議案書の74ページ、「第3表債務負担行為補正」の2行目、指定ごみ袋購入が、1件ございます。

次に歳入、歳出についてでございます。説明は、一般会計補正予算（第8号）説明資料により行います。

歳入では、説明資料の6ページ、16款1項1目民生費国庫負担金と、17款2項2目民生費県補助金でございます。

歳出、説明資料の12ページ、3款1項1目国民健康保険特別会計への繰出金と同款同項の3目一般管理費、続いて16ページ、4款1項1目火葬場施設運営負担金、同款同項3目の環境衛生対策事業、同款2項2目の施設維持管理事業が市民生活部の所管の案件でございます。

いずれも本会議場で細部説明のとおり、補足説明はございません。なお、担当部署概要につきましては記載のとおりでございます。

市民生活部は以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続いて、説明をお願いします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） それでは続きまして、保健福祉部案件につきましても記載場所等について御説明させていただきたいと思っております。

初めに、議案書並びに補正予算書を開いていただきますと、歳入では78ページから83ページ、予算書では上に書いておりますとおり10ページから15ページです。歳出では86ページから91ページまでというふうになっております。

補正予算説明資料について御説明したいと思います。

歳入では6ページ、16款国庫支出金、1項1目民生費国庫負担金、2項2目民生費国庫補助金、17款県支出金、1項2目民生費県負担金、同じく2項2目民生費県補助金、3項5目民生費委託金がございます。

歳出では、12ページを開いていただきますと、3款民生費、1項2目社会福祉施設費からで、14ページの2項児童福祉費は全て保健福祉部分です。

16ページを開いていただき、3項生活保護費、また同じページの4款衛生費、1項1目保健

衛生総務費には国保診療所勘定繰出金事業がございます。

一般会計は以上で、補正予算内容につきましては本会議場での説明のとおりで、補足説明はございません。なお、担当部署については記載のとおりですので御覧いただきたいと思えます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けてございますか。

○教育次長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 有馬教育次長。

○教育次長（有馬唯常君） 議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）でございますが、教育委員会に関係いたしますものは議案書74ページ、予算書で申し上げますと6ページ「第3表債務負担行為補正」で赤磐市立中央学校給食センター調理等業務委託料。

それから、歳入でございます。

議案書では80ページ、予算書では12ページでございます。補正予算説明資料では6ページになります。16款2項7目教育費国庫補助金。

続きまして、歳出でございます。

議案書では94ページから99ページ、補正予算書では26ページから31ページ、補正予算説明資料では18ページから23ページ、10款教育費でございます。

いずれも本会議場で御説明申し上げておりますので、補足説明はございません。なお、担当部署につきましては記載のとおりでございます。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

それでは、補正予算書の議案全体の74ページ、まず「第3表債務負担行為の補正」について質疑を受けたいと思えます。

質疑はありませんか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 先ほど御説明がございました指定ごみ袋の購入ということで、令和5年度分、大きな数字がまとまるとる数字で、参考までに知りたいなあと思えてお尋ねをします。

まず、約3,000万のごみ袋を購入して、いわゆる販売手数料を除いたもので、市民へごみ袋の購入代ということで販売した総額は大体どれぐらいになるのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○環境課長（安藤伸一君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤環境課長。

○環境課長（安藤伸一君） ごみ袋を除いた総額ということでございますが……。

○委員（大口浩志君） 販売手数料を除いた総額です。実質の赤磐市への入ってくるお金ということで。

○環境課長（安藤伸一君） 7,000万円でございます。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） そしたら、市民が有料化で、焼却ごみだけですけど7,000万円を御負担いただいとるという前提でお尋ねをしますが、今回の補正予算にあちこちで燃料費の高騰で云々くんぬんというような追加補正がたくさん出ておりますけど、このごみ袋とかも来年度入札とかをする際に値上がりが多分見込まれるのではなかろうかなというふうには思うんですけども、その辺については金額内で枚数を抑えようとするのか、市民に向けて値上げをお願いをするようなことになるのか、その辺は、今方向性がもし出とれば教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） まず、値上げについてでございます。

その議論の前に、現行の御負担でいける、この努力を先行してまいりたいと思います。

一例といたしまして、ごみ袋の仕様、こういったものを見直し、今の料金でいけるよう、そういった努力を重ねておるところでございます。当面はこれを維持していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（鼻岡美保君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君） 74ページ、第3表の債務負担行為補正の3段目、赤磐市立中央学校給食センターについてお聞きします。

まず、債務負担行為というのはどういう状況を言うのかの説明を私のためをお願いいたします。

そして、赤磐市立中央学校給食センター調理等業務委託料が令和5年度から令和8年度まで1億6,890万円になってるんですけども、これは令和8年度までの業務委託をするというこ

とでしょうか。赤磐市直営での調理はしないということでしょうか。そして、会計支出はどのような形で行われるのか、説明をお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員、民間委託はもう決まって進んでる状況なんで、その辺は御理解の上お聞きしていただきたいと思います。

それでは、答弁をお願いします。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部中央学校給食センター所長。

○中央学校給食センター所長（矢部 寿君） まず、債務負担行為についてですが、複数年での契約となりますために、翌年度以降の予算確保ということで債務負担行為をしております。

それから、その契約をするわけですから、令和5年から令和8年の契約期間につきまして、直営ではなくて委託でこの調理業務を行うということになります。

それから、会計については、受託先には委託料として支払うようになっております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に歳入歳出について、歳出の款ごとに質疑を受けたいと思います。なお、歳入については歳出の関連部分で併せて質疑をお願いします。

それでは、補正予算書の議案全体86ページから87ページ、予算書の18ページから19ページ、説明資料は12ページから13ページの2款総務費、3項戸籍住民基本台帳費、13節委託料について質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に補正予算書の議案全体86ページから91ページ、予算書の18ページから23ページでございます。説明資料は12ページから17ページの3款民生費について質疑を受けたいと思います。

質疑はございますか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 説明資料13ページの国保繰出金、これの補正概要の説明の中で、職員人件費の減と未就学児均等割保険料負担金の増に伴い繰出金を減額するとなってるんですが、ここでいわゆる未就学児の均等割保険料の負担金はいかほどアップしたのか、それをまずお尋

ねします。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 稲生市民課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 未就学児の保険料の負担金ですが、令和4年度から未就学児の均等割の保険料を2分の1に減額するというので、その2分の1について国が2分の1、県と市が4分の1ずつ負担をするということで、その分が増額になりまして、155万8,000円増額となっております。

以上です。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 負担増が155万8,000円ということなんですが、となると314万2,000円からどうなるんですかね、これ減額をしたんだけど。よく理解できないんですが。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 稲生市民課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 人件費のほうの減が給料と共済費と合わせまして470万円の減額となりまして、それで未就学児のほうが155万8,000円の増額となりました。国と県の負担金がありますので、合わせて314万2,000円の減額となっております。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい、結構です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 先ほどの総務での積み残し分の部分で、補正予算説明資料では12ページ上から2段目、一般管理費のところのマイナンバーカード絡みがございまして、ここには国とかの支出金は一切入ってないようなんですけど、補助金の類いはないのかなということと、いつ頃からこれで円滑に案内するスタートを切ろうとしているのかが分かれば教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 稲生市民課長。

○市民課長兼協働推進課長（稲生真由美君） マイナンバーの関係する事業につきましては国の補助金がございますが、額が確定しまして3月の補正で計上する予定にしております。

それから、この派遣業務につきましては1月の早い時期から始めたいと思っております。

以上です。

- 委員長（松田 勲君） よろしいか。
他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（松田 勲君） なければ、次に補正予算書の議案全体90ページから93ページです。予算書の22ページから25ページ、説明資料は16ページから17ページの4款衛生費について質疑を受けたいと思います。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（松田 勲君） なければ、次に補正予算書の議案全体94ページから99ページ、予算書の26ページから31ページ、説明資料は18ページから23ページの10款教育費について質疑を受けたいと思います。
質疑はありますか。

- 委員（大口浩志君） はい。

- 委員長（松田 勲君） 大口委員。

- 委員（大口浩志君） 説明資料の22ページ、23ページ、埋蔵文化財の調査っていうのがよく今までも度々にわたって出てきたと思いますが、いわゆる委託料となっているんですけど、こういったものは大体どこへ委託をしているものなんでしょうか。

- 委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

- 社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

- 委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

- 社会教育課長（西崎雅彦君） 埋蔵文化財の発掘調査を行っている業者が数社ありますので、そういったところに委託という形でお願いをするものでございます。

- 委員長（松田 勲君） よろしいか。

- 委員（大口浩志君） はい。

- 委員長（松田 勲君） 大口委員。

- 委員（大口浩志君） その際に、正式名称は忘れましたが、赤磐市にも何とか委員さんがおられるじゃないですか、こういった関係に携わっておられる。そういう人らがたまには現地へ行かれたりとか協力をしてやるようなことっていうのはあるんですか。

- 委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

- 社会教育課長（西崎雅彦君） 委員長。

- 委員長（松田 勲君） 西崎社会教育課長。

- 社会教育課長（西崎雅彦君） 文化財保護委員さんがいらっしゃいますが、今回の確認調査につきましては市の教育委員会のほうが主体として実施するものでございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にありませんか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 説明資料の19ページでお尋ねします。

小学校における施設維持管理工事費2,391万4,000円が計上されてますが、これは場所はどこか、まず教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 来年度教室増の見込みでございます。

小学校において山陽小学校、磐梨小学校、山陽北小学校、山陽西小学校の予定でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） よろしいです。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） ちょっとタブレットの電池が切れたので覚えで言いますが、予算書の30ページ、31ページの図書館費についてお伺いいたします。

コロナ対策として除菌機を購入するということですが、今ある消毒機とはまた違うものなんでしょうか。

○中央図書館長（森本一也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本中央図書館長。

○中央図書館長（森本一也君） 現在中央図書館で使用しております消毒機は平成30年に5年間リースで導入をしております。来年度の途中でリース期間が満了しますもので、100%のコロナ交付金が活用できるということで新規に購入をするものです。

○委員（治徳義明君） はい。

○委員長（松田 勲君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 要は、今までの消毒機と全く機能的には変わらないものなんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○中央図書館長（森本一也君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本中央図書館長。

○中央図書館長（森本一也君） 機能的にはそんなに変わってはおりません。ほぼ同じものです。

○委員（治徳義明君） ありがとうございます。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

鼻岡委員。

○委員（鼻岡美保君） 10款4項で幼稚園の人件費が減ってまして、職員が27人から24人に減ってるんですが、説明資料の20ページ、21ページなんですけど、これはどこの幼稚園なのか、こんなに減って大丈夫なのかお聞きしたいんです。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 金島教育総務課長。

○教育総務課長（金島正樹君） まず、幼稚園の職員の人数のことですが、どこの幼稚園ということではなく、全体で人数が今年度予定していた人数よりは減っております。

幼稚園の状態なんですけど、人数の体制においては今のところ最低限の人数で行っております。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） 鼻岡委員、よろしいか。

○委員（鼻岡美保君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、議第70号令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について、ただいまから審査を行います。

執行部のほうから補足説明ございましたらお願いします。

○市民生活部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 杉原市民生活部長。

○市民生活部長（杉原洋二君） 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、市民生活部、保健福祉部ともに本会議場での細部説明のとおりで、補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

それでは、執行部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

事業勘定、熊山診療施設勘定、佐伯北・是里診療施設勘定の3つの全ての質疑をお受けしますので、補正予算書の議案全体102ページから135ページ、国で申しますと、国の2ページから

国の35ページ、説明資料は26ページから37ページでございます。

質疑ございますか。

よろしいか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（松田 勲君） なければ、議第70号令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の質疑を終わります。

続いて、議第71号令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）について審査を行います。

執行部のほうから補足説明ございましたらお願いいたします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましても、本会議場での説明のとおりで補足説明はございません。どうぞよろしくお願ひします。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

補正予算書の議案全体ページは138ページから149ページでございます。個別には、介2ページから介13ページまでです。説明資料は40ページから43ページでございます。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 説明資料43ページ、介護保険の質問をします。

一般管理費では、職員人件費、人事異動が原因で13人が11人となっているんですけども、その下の認定調査員の事務量増加に伴い人件費を増額するという事で補正を組まれているんですが、これ職員はその認定調査員には含まれないと思うんですけども、今後介護認定の事務量が高齢化によってますます増えてくるのかなと思うんですが、これは会計年度任用職員ということで対応しているんですけども、今後こういう方向でずっと対応するという事で行くのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 介護保険につきましては、認定調査員も職員のほうが行っております。資格を持った職員もおりますので、全体で調査や審査会、そうい

ったところにも正職のほうが率先して業務をしております。その中で、人事異動等によりまして、職員13人から11人というようなこともございまして、いい調査員もおりますので、時間数等を増額して全体のバランスを取っているというような状況でございますので、よろしくお願ひします。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） ありがとうございます。

要するに、正職は減らすけれどもいわゆる会計年度任用職員で対応していくという御答弁だったと思うんですが、正職対応というのは今後はあまり考えてないということですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 谷名保健福祉部長。

○保健福祉部長兼介護保険課長（谷名菜穂子君） 決して正職を減らすというわけではなくて、突然の退職とかもございましたし、いろいろ年度年度で事情がございます。今年度は産休、育休等、そのあたりも全て含めましてこのような状況で介護保険課のほうが進んでおります。そういった中で、可能な調査員について時間数を増やしているということで、決して正職の職員が減ってるというような状況ではないと思われま。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで議第71号令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）の質疑を終わります。

これで厚生文教常任委員会所管関係を終わります。ありがとうございました。

ここで執行部を産業建設常任委員会関係者と交代いたしますので、11時20分まで休憩といたします。よろしくお願ひします。

午前11時16分 休憩

午前11時20分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、再開します。

続きまして、産業建設常任委員会所管関係について審査を行います。

議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について審査を行います。

執行部のほうから歳入歳出について補足説明がありましたら、部ごとにお願ひします。

なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うように重ねてお願ひいたします。

それでは、補足説明ございますか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）につきまして、産業振興部所管部分につきましては本会議場で説明のとおりでございます。補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にございませんか。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） それでは、令和4年度事業の補正につきまして建設事業部から説明をさせていただきます。

資料の議案書の92ページ、93ページ、同ページ予算書の24ページ、25ページとなっております。併せまして補正予算説明資料の16ページ、17ページを御覧ください。

令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について、8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費で、都市計画の変更に係る国等への説明資料の作成及び法定手続に必要な図書を作成するための委託料としまして1,200万円を増額するものであります。

この補正につきましては、立地適正化計画の素案も固まりつつあり、また都市計画の変更に係る県や国との最初の段階の協議も順調に進んだことから、次の段階として農政局など関係省庁との具体的な調整をさらに進めるとともに、市街化区域への編入、用途地域の変更といった都市計画の変更に係る法的手続に向けた準備に取りかかる必要があるため補正をするものです。なお、都市計画の変更に係る農政局など関係省庁との協議や調整には相当の時間を要することから、次年度への1,200万円全額の繰越明許費補正も併せて行うこととしています。

説明は以上でございます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

それでは、補正予算書の議案全体73ページから74ページ、予算書の5ページから6ページ「第2表繰越明許費補正」について質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 73ページの今部長の説明があった案件ですが、今のお話によりますといわゆる図面を作るだけではなくて、実際事業に関しての様々な許認可やなんかもこの業務の中に入るようにお聞きしたんですが、もうちょっと具体的に、この業務そのものがプランをつ

くるためというだけではない部分が入るのかどうか。

それから、実質的にこれ入札とか実際の事業の進捗は来年度ということですけど、具体的にどんな計画になっているのか、もうちょっと詳しい説明を求めます。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 先ほどの質問に対してでございますけれども、この予算につきましては当然プランをつくるだけのものではございません。都市計画の手続を進めていく一つの流れの中の作業になります。都市計画の手続を進めていくに当たっては、説明にもありましたように、国とか県、農政局、国土交通省、そういったところとの協議が必要になってまいります。その協議に必要な資料の作成がたくさん必要になってまいりますので、そういったものを1つ予算を計上してあります。それから併せまして、そういった国、県との協議を終えましたら、今度は都市計画法に基づきます都市計画の変更の手続というのがございます。それにつきましても農政局との事前調整、それから国土交通省との下協議、そういったものが必要になってまいりますので、それを経て法定図書というものを作成してまいります。その法定図書の審査、審議を経て都市計画の変更という流れになってまいります。

今回のこの予算につきましては、そういった一連の作業を進めていくための予算として計上させていただいております。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そうしますと、この間初めて見せていただいたこのプランを、実際的にはこれがもう固まって、これを進めていくための予算取りなわけですから、現在のこのプランは確定されていて、それに基づいて進めるということですよ。もう一度確認させてください。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 立地適正化計画のことでよろしかったでしょうか。

○委員（原田素代君） はい。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 立地適正化計画につきましては、これまで6回の検討委員会を開催して検討を進めてまいりました。今後、素案というものを取りまとめていくという流れになってまいります。その素案ができましたらパブリックコメントなどを行いまして原案が完成するという流れになります。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

今申しあげましたように、せんだっての全員協議会の中で初めてトータルの資料を見せていただいたところでございます。

執行部も御承知のように、議会基本条例というのがございまして、総合計画に基づく案件については、議会の中で十分な議論ができるように執行部の細かい説明を加えながら時間をかけて審議をするといううったてがございまして、それがつい先日の全協でペーパーで見せていただいたプラン、これで行きますということ、はいどうぞというわけには議会基本条例からすればあり得ない話だと私は思ってるんです。

実際、全協の中でもいろいろな御意見がございまして、そういう意味では今回ここでそういうゴーサインを出すような予算を認めるということは議会としてはあり得ないことだと私は認識しているんですが、そういう議論というのは執行部ではなかったんですかね。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） ただいま原田委員のほうから先般初めて資料を見ましたというお話があったかと思えます。

前回の全協でお見せした資料というのは、まだこの立地適正化計画の計画としては、まだ全体像にはなっておりません。まだ今の検討している途中の段階の資料でして、先ほど室長のほう申しあげましたけども、これから素案という形で一まとめにして、それで初めて形になるというところ、今途中でこういう検討していますというのを、前回は常任委員会だけではなくて全協のほうで皆様に周知をさせていただいたところになります。したがって、まだこれから先実際に今回やりたいまちづくり、どういう施策を打っていくとか、一番大事な部分になりますけど、どういう施策を打つかとか、そういうことについては次回の協議会の中でまたお示しをしようと思っております、それについてはまたいろいろな形で議員の皆さんにもお見せをしたいなと、情報共有したいなというふうに思っておりますので、決して出来上がりしましたというふうなつもりでこの間お見せしたものではない、まだ製作途中だということをお認めいただければというふうに思います。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 途中だという御説明でありながら、一方でこの予算が事態を進めるために許認可や法定図書などの審査に向けての資料として作成していくということは、もうこれは道筋がついたというふうにしか私は理解できない。お見せするとか情報共有したいという御発言も、私の中では違和感がございます。議会が十分に議論されて、要するに議会というのは住民代表なんですから、住民の皆さんが都市計画に対してこういう期待がある、もしくはこうしてほしいってことをしっかり反映させていただかないと何の意味もない、ただの委託した

先のセンスで決まっちゃうだけの話ですよ、よくある話です。そういう予算ですから、私としては今回のこの案件は議会基本条例を執行部の皆さんも十分理解をされて、本来だったらもうちょっと丁寧な議論を尽くした上で出されることだと私は思っているの、それについて最後に市長に御見解をお尋ねしたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） おっしゃることはよく理解できます、この件については担当の産業建設常任委員会に幾度となく説明をさせていただいております。それから、市民説明会という形で立地適正化協議会で素案がまとまりつつある、これも最終決定ではありませんが、経過を踏まえて説明をさせていただいております。

そういった中で、市民の皆様にもお伝えしながら、この立地適正化計画、これは土地利用を定める指針でございます。この土地利用を、例えばこういう企業が、あるいはこういった施設ができる、そういったものを定めるものではなく、概念的に、ここは住居系の用途を目指していくんだ、あるいは産業を誘致するための受皿にしていくんだ、あるいは公共用地としてどういう用途を定めていく、こういった範囲を漠然と定めていく、そういった内容でございます。事業実施のための計画ではありますけども、今、現時点で具体的にはっきりと〇〇公園を造るんだと、そういうふうなものではございませんので、その前段の土地利用の概念を定めていこうという計画ですので、御理解の上、何とぞ適切な判断をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（原田素代君） 結構です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） この前は全協していただいたんじゃないけど、今あれを見よんじゃないけど、繰越明許費補正になっとなんで、これは3月までには使わん金という意味に理解したらいいんですかね、これは。それがここで予算が。僕がこの前全協で言わせていただいたのは、やられることに対して反対や何もしないつもりはないんですけど、ぼくらが不服を言われようのことに對して適正にきちっと対応してやっていただかんと、おめえら何をしょんならと言われるような今の実態なんで、その辺をもう少し慎重にお願いしたいというのをこの前お願いして、産建委員会のほうでしっかりそういうことも踏まえてやっていただきたいということで全協が終わつとると思うんですよ。その産建の委員会は議決するまでにまだもう一回開かれるんですか、それとも予算だけ、今朝もニュースで言やあ防衛費が、もう金だけの話しかしない、内容がないというんと一緒じゃないかと思うんで、どうも何か不審、何のためにここで1,200万円

つけにゃならんのかというのが理解できなんですけど、その辺を説明お願いしたいと思いません。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） この予算、今年度執行しないのかというような御質問だと思うんですけども、これまでも立地適正化計画の策定と並行しまして都市計画の基本的な考え方、在り方というものは、国とか県とかと手順を追って協議や調整を進めてきております。各種調整が必要な中で、この流れでスムーズに業務を進めていくためには早急に業務を発注する必要があると考えております。したがって、これは今年度発注を考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 少し補足をさせていただきます。

この立地適正化計画の中身、内容そのものは、申し訳ございませんが合併時の新市建設計画、それからその後に策定させていただいた赤磐市の総合計画、それから都市マスタープラン、そういったものにも、この内容の概念的なものは既に定められておりまして、この市議会でも新市計画あるいは総合計画は議論をさせていただいて、方向性が定まっております。その方向性に従っての立地適正化計画でございまして、これを実施するには法手続をきちんと行って土台をつくっていく。これが民間企業やあるいは行政がアフターコロナも目指して赤磐市の将来あるいは経済的な活性化を目指していくためにも、今このタイミングで実施しないと、現地ができるのはもっともっと先になります。まずは法手続をきちんと行って、いつでも着手できるような状態をつくり上げることが急務だと思っておりますので、ぜひともこのあたりをお含みいただいて審査をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） はい。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） そのことはよく理解できるんですけど、前にも言うたように、吉井地域から考えたら、吉井から桜が丘へ住まわれて、桜が丘から吉井へ来られとるような人も何人かおられるし、一番北から行けば河原屋大谷、恐らくもう10年したら区がなくなるんじゃないかというふうに思います。その関係の人が、赤坂に住まわれたり桜が丘に住まわれたりしとんですね。それで、そういうことからずんずん、吉井地域の皆さんが言うのは、もう吉井のことは全くそれに入ってないと。この前も説明があったように、吉井から桜が丘へ行って住めとい

うような表現が入るとこと自体が、吉井の人にとっては不幸な話なんです。だから、その辺の解消をきちっとして、やっていただきたいというのがこの前お話しした話で、市がよくなることです。することに反対はしません、協力もします。しかし、合併したときは対等合併でしとるわけですから、山陽へ磁石のように皆回りのものをひっつけるんじやというような発想じゃなしに、それに至るになってもきちっと各地域がこれから存続していけるような表現をしていただかんと、それはもう計画自体が認められるような話じゃないと思うんですよ。だから、もう一遍よう立ち止まって、1,200万円をつける、つけんという話はまた別として、やっぱりつけるんならつけるだけのことの対応を、何もできてねんじやけどこれはせにゃあいけんのじやという表現じゃなしに、やはり末端のことまで考えた施策を入れていただいてやっていただきたいというのが、この前お願いしたあれなんで、それについてどう思われるんか、もう今のままやられるんかお聞きしたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 申し訳ありません。説明会等でコンパクトシティという言葉を使っております、これが大きな誤解を与えているようでございます。その点についてはおわびを申し上げます。

これは、都市計画区域内の土地利用を定める指針でございまして、その中で行政機能や産業をこの都市計画区域内のある部分に集中させようということを目指しております。これは何も他の地域を何もしないって意味ではございません。我々が目指しているのは、この赤磐市で、やはりそういった魅力のある企業あるいは魅力のある公共施設あるいは大きく雇用を促進できる、そういったところを創出して、これがにぎわいに通じていけば、この赤磐市全体の魅力向上にもつながります。そうした上で、他の地域についてもそういう赤磐市の魅力が伝播して行って、いろんなところから企業等からオファーが来て、それを誘致する受皿をまた準備していくと、そういう流れにつながっていく。それは一朝一夕にはいきません、何事も段階的に1段ずつ階段を上るかのように実施していくことが肝要かと思っております。今は都市計画区域内の土地利用を、将来を見定めてここを定めていく、その次には他の地域に注目が集まるように誘導していく、そういったことが重要だと考えているわけでございまして、御理解よろしくお願い申し上げます。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 今の市長の表現が皆さんに誤解を招いとんですよ。都市計画区域のというのは、それは分かります、赤磐市の中で都市計画区域があるのは。ですが、市は一つですから、山陽もあれば赤坂もある、熊山もある、吉井もある。一つなんです。その一つの全

体像を示した中で都市計画をやっていただくのはいいんです。ですが、今のみたいに、あの説明で吉井地域の人が誰一人と賛成する人はおらんと思うんです。今コンパクトシティーの話が出ましたけど、国が指導しとったコンパクトシティー、前にも僕が一般質問したことあるんですけど、例えて吉井地域で言えば、コンパクトというのは小さく数多くという表現に僕は受け取ったんです、国の説明を。それは例え話で話をしますと、吉井地域だったら支所を中心にして、そこに医療関係、いろいろ商業施設、皆をして、吉井地域が小さいコンパクトシティーという、僕はそういうふうに国の指導はそうだったと思っただけなんです、今はそうじゃなしに、コンパクトじゃなしに、一つの町に、山陽へ全部を中心にというふうにしか聞こえないんで、例えばで言えば、赤坂の町荻田のところが、ほんなら山陽というたらもう一体化したように見えるし、一つじゃと思う。でも、吉井とほんなら山陽というのは全く在り方も違うし生活することが基本の設計が、吉井地域にとったら吉井のことだと思うんですよ。じゃから、山陽を中心にして吉井がそれにひつつくような説明は、これは避けていただきたいというふうに思います。私は今、吉井地域から1人しかおりません。合併したときには6人おったんです。ですが、今1人なんです。皆さんの意見を一つにまとめるとしたら表現があれですけど、みんなの意見が一つなんです。6人おったら六様で聞いとるんですけど、今は1人ですから一様で聞いて、吉井地域が一様なんです。その中で、ほんならそれでええじゃねえかと言うてくださる人は一人もおりません。

今回の、さっきも怒ったんですけど、駐在の件でもそうです。計画に入っていないからああいうことになるんです。じゃから、やっぱりその辺が地域に住んどる人のことを考えて、もう少し気を遣っていただきたいというふうに思うんで、この辺についてお答え願いたいと思います。

○委員長（松田 勲君） すいません、予算委員会ですので質疑も答弁も簡潔にお願いしたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 先ほども申し上げましたんで繰り返すにはならないように注意します。

新市計画や総合計画で、今の下山委員のおっしゃってるような全体的な御議論というのはさせていただきます。一つの例を取って言いますと、新市計画の中では北部地域、それから南部地域それぞれに目指す土地利用を定めておまして、その中でこの立地適正化計画の中で目指しているもの、一致しております。

それから、北部地域についても様々な政策を展開するよう定められていて、これに併せて北部地域についても市政が推進されております。一つの例を言いますと、今回の議案にも上げさせていただきます。吉井仁堀工業団地の中の工場誘致なんかもその一例でございます。そ

ういったことを含めて、市全体の計画の一つの部分として都市計画区域の土地利用計画を定めるのが法定上必要なものですからこの機にやらせていただくということでございます。御理解をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（松田 勲君） では、そういうことでよろしいですかね。

他にございませんか。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（松田 勲君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） この予算は都市計画に関わる予算なんですけど、都市計画審議会の各委員と協議したのかどうか、まず確認させてください。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） この予算につきましては都市計画審議会とは協議はいたしておりません。

以上です。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（松田 勲君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） この都市計画に係る法定図書作成支援業務をどういうところに委託する予定ですか、具体的に教えてください。まだ決まっていないでしょうけど、当然市外のどんな業種のどんなところなのかを教えてください。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） どういうところかというところですが、今回内容的には都市計画の内容になりますので、その専門のコンサルタント、ここに発注しようと思っております。これが市外になるのか県外になるのかそういったことについては今はまだ決めておりません。

以上です。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（松田 勲君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 都市計画の専門に関わる業者というか、市内にありますか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 今現在立地適正化計画、こちらでも専門のコンサルタントを使って資料作成等行っております。こちらについては市外の業者さんということになっており

まして、専門ってところがリストの中で、果たして市内にあったかなかったか、申し訳ありませんが、私一つ一つ把握しておりませんので、この場であるないというところは答弁を差し控えさせていただきたいと思います。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（松田 勲君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） そういう専門のコンサルタントが市外にあるのか市内にあるのか、ないのかを聞いてるんですけど、お答えいただけないと。恐らく、すいません、私はないというふうに理解してます。

恐らく市外になるでしょう。市外の方は赤磐のこと知ってますか、知らないですよ。都市計画審議会の委員は吉井の代表あるいは赤坂地区の代表、熊山地区の代表、各地区の代表、市内を一番よく知ってる皆さんが集まった審議会です。その審議会を、全く事前協議もせず、いきなり都市計画を市外の業者に丸投げするっていうようなことは、これまともなんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） すいません、今は繰越明許費の補正でございますので。

○委員（永徳省二君） そうです。当然です、予算……。

○委員長（松田 勲君） よろしいですか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） すいません、補足説明をさせていただきますが、業者ですけど、これは建設コンサルタントの中でも都市計画部門のコンサル登録をなされている企業になります。もうちょっと詳しく言いますと、都市計画部門の技術士を抱えて、こういったことの経験のある技術者が存在するコンサルタントがその都市計画部門のコンサルタント登録が可能になります。そういう都市計画部門のコンサル業務を登録されている企業を条件に入札をさせていただくと。これは市内にそういう該当するものがあるかどうか、これは今ここで即答はできませんけども、この都市計画部門の技術士を抱える企業というのはそうたくさんあるわけではございません。岡山市内の企業では、複数社あるということは把握しております。

それから、立地適正化計画と都市計画審議会との関係を、もう少し説明が必要なのかなというところで説明をさせていただきます。

立地適正化計画は、この有識者等から成る協議会の審議を経て、これが成案となってまいります。今度はこの都市計画の概念的に定められた立地適正化計画をさらに都市計画法に基づく都市計画決定という形の手続に移ってまいります。その際に都市計画審議会の意見を求めることが定められておまして、この立地適正化計画の策定段階で審議会の委員さんに意見を求めるという手続にはなってございません。

この審議会に関しては、その都市計画の変更を行う際に、手続的にこれは必ず審議会にお諮りをして意見を求めるということが義務づけられておりますので、そのようにやらせていただ

きます。この際には事前にしっかりと内容説明をさせていただいて審議会に臨んでいくということになるかと思しますので、御理解よろしくお願い申し上げます。

以上です。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（松田 勲君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 今の市長の話からいうと、吉井地区、赤坂地区、熊山地区の代表の皆さん、市民の皆さんの意見を聞くことなく、いきなり1,200万円を外部委託されるということではよろしいのでしょうか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） すいません、意見を聞かずにやるってということじゃございません。立地適正化計画については市民説明会を複数回行った上で策定をさせていただいておりますけれども、地域の声を聞くということは我々市の職員がこれからもさせていただき、そういった声を集約した形で計画に反映し、その内容を反映した計画、これの作業をするのがこの都市計画の図書作成業務ということでございますので、そのあたりも御理解をいただければと思います。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（永徳省二君） 結構です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） ちょっと基本的な部分で、委託料、何をするにも非常に予算かかるんですけども、いわゆる計画書の作成委託料1,200万円の積み上げの根拠といいますか、妥当な金額かどうかというのを教えていただければと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） まず、内容について御説明をさせていただきます。

今回の関係省庁への説明資料の作成と都市計画図書の作成の2つの項目になるんですけども、関係省庁への説明資料としまして結構たくさんの方がございます。大きく3つに分かれるんですけども、まず根拠資料の作成ということで、関連データの収集整理ということで、国勢調査であるとか都市計画基礎調査、それから空き家調査、こういったものの整理をまずしてまいります。それから、県南広域都市計画区域マスタープランとか立地適正化計画、こういっ

たこととの整合性の整理、それから市街化区域の人口及び産業の将来推計というものを作成していきます。それから、農地、水路などの現在の土地利用の現況の調査や図誌化、それから土地の権利調査を行ってまいります。

それから、2つ目としまして、土地利用の方針というものの資料の作成としまして、市街化編入の規模の妥当性や必要面積の根拠の作成、それから用途地域の配置計画の作成、それから市街地の開発計画、これは道路とか水路とか施設の配置になりますけれども、こういったものを作成します。

最後に、3つ目としまして、図面の作成ということになりますけれども、市街化区域や用途地域の変更を示す位置図や計画図、用途地域図等の各種図面を作成してまいります。

これが説明資料の概略になります。これらを基にしまして関係省庁との協議を行いながら都市計画の変更に係る法定図書を併せて作成をしていくといった業務内容になっております。

こういった内容を実施するということで見積りを徴取しております。それに対しては予算の確保段階では妥当と判断をしております。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか、まだありますか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） この資料、何回見ても難しい、本当にこの市をどうするかという根本的な問題で、ここで考えないといけない時期で、資料を何回見ても分かりにくいんです、やっぱり専門的なものだから。

それで、あそこの土地利用なんです、市街化調整を市街化区域に編入したり、それからあそこは防災のもう一つ資料ついてますよね。その問題がまたこれ大変だと思うんですよ。これを本当にどうしていくかという見通しがまだついてないと思います、あの資料を見たら。だから、これ何回見ても分かりにくい、そういう意味では説明会をされたというんですが、やはり2回ぐらいああのぐらいの説明では分からない。だから、赤磐市全体をどういうふうな町にしていくかというのをどの地域でもして、その中に、将来あの地域をこうやっていくというふうな、大きなそういう計画を市民に語って行って、市民からその声をして、各地域ごとにどう発展させていくか、その中の山陽地域の土地利用をどうするかというふうな話はまだまだ要るんじゃないかと、そういう話を今後時間は短くてもされる気がするかどうか、そこをお聞きします。

○委員長（松田 勲君） そういう話合いの場を設けるかどうかということですね。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 今、福木委員のおっしゃった話合いの場、これは私は必要と考えておりますので、そういう場を設けていきたいというふうに思います。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいですね。

それでは次に、歳入歳出について、歳出の款ごとに質疑を受けたいと思います。

12時を回りますけど、御協力をお願いします。

なお、歳入については歳出の関連部分で質疑をお願いします。

それでは、補正予算書の議案全体92ページから93ページ、予算書の24ページ、25ページ、説明資料の16ページから17ページの7款商工費について質疑を受けたいと思います。

質疑はありますか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） まず、前段でお聞きするんですけど、商工絡みの、説明書で言えば6ページ、7ページの歳入の部分については聞けるんですかね。

○委員長（松田 勲君） 歳出と併せてならいいですよ。

○委員（大口浩志君） よろしいということですね。

○委員長（松田 勲君） はい。

○委員（大口浩志君） 6ページと7ページの一番下に不動産売払収入っていうのがございしますが、これ赤磐市を含めた他の自治体も含めて画期的な取組が赤磐市はできたのかなというふうに前向きに個人的には捉えておるんですが、これで売払収入がこれだけ入ります。次の物件というか同じものを目指すためにも、種銭という表現がいいのかどうか分かりませんが、この中の一部を使ってこういうような事業を積極的に行っていただきたいと思うんですが、その辺はいかにお考えでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 歳出には直接あれですね。

答弁をお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 一応財産収入ということで会計に入りますので、私のところでどうこうなるというような状況ではないと考えております。できればこれを使って次につなげていきたいという思いはありますが、制度上そういうことになっておりますので御理解をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 制度上はなかなか難しいが、気持ちは大いにあるという答弁だと理解しとけばよろしいですか。

○委員長（松田 勲君） 再度お願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員おっしゃられるとおりでございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に補正予算書議案全体92ページから93ページ、予算書の24ページ、25ページ、説明資料で言うと16ページ、17ページの8款土木費について質疑を受けたいと思いますが、先ほどたくさん質問されたと思うんですが、よろしいですか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） この前全協していただいたときに産建のほうでしっかり協議をお願いしますということになったんですが、その後の全協以降の産建と執行部との対応はどう……。

○委員長（松田 勲君） すいません、ここではそういう質問できません。

○委員（下山哲司君） いやいや、これ予算について……。

○委員長（松田 勲君） 予算以外について産建に直接聞くことはできませんので御理解ください。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで、産業建設常任委員会所管関係を終わります。ありがとうございました。

これで、議第69号から議第71号までの全ての質疑は終了いたしました。

ここで、執行部を交代して採決に移りたいと思います。

大変申し訳ございませんが、この時計で12時10分まで休憩といたします。

午後0時4分 休憩

午後0時10分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは再開いたします。

ただいまから、本委員会に付託されました議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）から議第71号令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）までの3件について

て採決をしたいと思います。

採決方法について、一括か分割かとございますが……。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 補正のところではちょっと意見だけ。

給食センターの業務委託、ここをちょっと私は……。

○委員長（松田 勲君） すいません、もう終わりました。

○委員（福木京子君） いやいや、異議を、一応反対ということで一言言うときます。

○委員長（松田 勲君） そういう場ではございませんので、本会議でしゃべってください。

では、採決方法について、一括採決が……。

○委員（原田素代君） 何か一括って、3件一括でしょう、3つを一括するなんてあり得ない。

○委員長（松田 勲君） だから聞いているんでしょう。

一括にするか分割にするか御意見を伺います。

○委員（原田素代君） 分割にしてください。

○委員長（松田 勲君） 分割で行きますか。

それではお諮りします。

分割でいいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 例え話で言えば、1,200万円については、立場としてはよろしいですよと言えん、ほかの予算は分からんけど、ほんならどうしたらいいんですか。

○委員長（松田 勲君） それは下山委員が一番よく分かってらっしゃると思いますので。

それでは、採決は1件ずつ行いたいと思います。

まず、議第69号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について採決をしたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。起立少数で……。

○委員（佐藤 武君） 7、7よ。

○委員長（松田 勲君） ああそうか。

○委員（佐藤 武君） 同数よ。

○委員長（松田 勲君） 失礼いたしました。

再度すいません、賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。可否同数でございます。よって、赤磐市議会委員会条例第17条の規定により、委員長が本件に対する可否を裁決いたします。

委員長は、議第69号につきまして、原案のとおり可決すべきものと裁決します。したがって、議第69号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第70号令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について採決を行います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。起立全員でございます。したがって、議第70号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第71号令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第2号）について採決を行います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。起立全員でございます。したがって、議第71号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査はこれで全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任させていただきたいと思いますが、よろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。

それでは、閉会に当たりまして、前田副市長より挨拶をお願いします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 本日は、予算常任委員会におきまして、大変お忙しい中、予定の議第69号から議第71号までの3補正予算案につきまして、慎重に御審査をいただきましてありがとうございます。

また、最終日には適正なる御審議をいただきますことをお願い申し上げまして、本日の閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございました。

長時間ありがとうございました。それでは、これで終わります。

午後0時15分 閉会